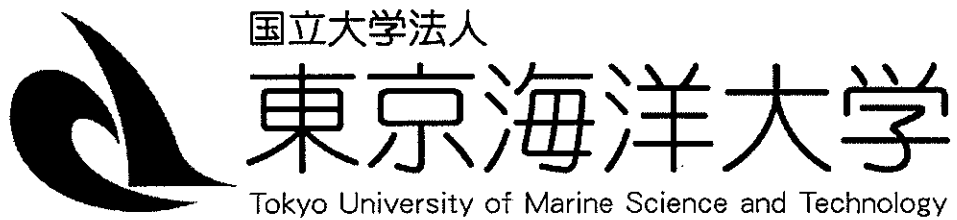


平成23年度

# 入学者選抜要項



## 目 次

大学の理念，大学の人材養成と目標，アドミッションポリシー（入学者受入方針） および教育研究上の目的	1
各学科が求める学生像	2
I 入学者選抜の種類	4
II 募集人員	4
III 一般入試，AO入試	5
1 一般入試	
(1) 出願資格	5
(2) 選抜方法	5
① 入学者選抜方法等	
② 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等	
③ 個別学力検査の教科・科目等	
④ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等	
⑤ 志願方式	
(3) 出願期間・個別学力検査日・合格発表日	5
2 AO入試－A（一般）	9
3 AO入試－B（専門高校・総合学科卒業生）	11
4 AO入試－C（帰国子女）	13
5 AO入試－D（中国引揚者等子女）	14
6 AO入試－E（社会人）	15
（注）AO入試C～Eについては，海洋工学部のみで実施	
IV 特別入試	16
1 推薦	17
2 帰国子女	18
3 中国引揚者等子女	19
4 社会人	20
（注）帰国子女，中国引揚者等子女，社会人については，海洋科学部のみで実施	
V 私費外国人留学生特別入試	21
VI 学生募集要項の発表・請求方法	22
1 発表	22
2 請求方法	22
VII 健康診断	23
VIII 障害等のある入学志願者との事前相談について	24
IX 情報開示について	24
X 東京海洋大学のキャンパス	24
XI 東京海洋大学学生寮のお知らせ	25

## 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー（入学者受入方針）および教育研究上の目的

東京海洋大学は、大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー（入学者受入方針）および教育研究上の目的を次のように掲げています。

### 大学の理念

人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術に係わる基礎的・応用的教育研究を行う。

### 大学の人材養成と目標

我が国が海洋立国として発展し、国際貢献の一翼を担っていくためには、国内唯一の海洋系大学である東京海洋大学が、「海を知り、守り、利用する」ための教育研究の中心拠点となって、その使命を果たす必要がある。このような基本的観点に立ち、本学は、研究者を含む高度専門職業人養成を核として、海洋に関する総合的教育研究を行い、次の能力・素養を有する人材を養成する。

- 一 海洋に対する科学的認識を深化させ、自然環境の望ましい活用方策を提示し、実践する能力
- 二 論理的思考能力、適切な判断力、社会に対する責任感をもって行動する能力
- 三 現代社会の大局化した諸課題について理解・認識し、対応できる実践的指導力
- 四 豊かな人間性、幅広い教養、深い専門的知識・技術による課題探求、問題解決能力
- 五 国際交流の基盤となる幅広い視野・能力と文化的素養

### アドミッションポリシー（入学者受入方針）

海洋とその利用および地球環境問題に興味と関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生を求める。

### 教育研究上の目的

海洋科学部においては、海洋、湖沼、河川に生息する多種多様な生物と人間との共存、地球環境、食糧等の問題に関心を持ち、これらに係る諸課題を追求し、解決するための行動力を持つ人材としての専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に関わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類・社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

海洋工学部においては、海、船、物流等の問題に関心を持ち、これらに係る諸課題の理解と解決に必要な高度な技術を身に付け、国際的にも活躍できる人材としての専門職業人を養成するとともに、これらの諸課題に関わる基礎から応用に至るまでの研究を行うことにより、人類・社会の発展に貢献することを教育研究上の目的とする。

## 各学科が求める学生像

### 海洋科学部

#### 《海洋環境学科》

海洋環境学科では、海洋における諸現象を観測・解析・予測する海洋学を基礎として、これを海洋環境保全・修復の科学・技術へと発展させる海洋環境学を教育・研究しています。本学科は、海洋生物学、水圏環境化学、環境システム科学、環境テクノロジー学の4つの専門分野で構成されています。海洋生物の生活史・生態・環境との関わり、水産資源の持続的有効利用、環境と人間に調和した海洋生産システム、物質循環、人類起源の汚染物質の挙動、沿岸・沖合相互作用、大気・海洋の相互作用、気候変動等に興味のある学生を求めています。

#### 《海洋生物資源学科》

海洋生物資源学科では、河川・湖沼から磯や海浜、そして沿岸・沖合から深海に生きる生物を対象として、生態系のなかでの多様性を保全しつつ、持続的に利用するための「生命科学」と「資源生物学」について幅広く教育・研究しています。その内容は遺伝子、細胞、個体レベルから、集団、生態系レベルまでをカバーしています。水に生きる動植物をつくり育てるための生理、病理、遺伝育種、バイオテクノロジー、そして生物多様性に配慮して資源を増やし、守りながら利用するために、その生態や変動、維持の仕組みを学び、技術として応用することに興味のある学生を求めています。

#### 《食品生産科学科》

食品生産科学科では、安全で信頼性の高い食品を持続的に供給するため、食資源を化学、微生物学、物理学、工学的な手法を用いて余すことなく利用する技術開発を行い、食品の安全性の確保・向上と新しい機能をもつ食品の開発と評価について教育・研究しています。本学科は食品保全機能学と食品品質設計学の2つの専門分野から構成されています。水産生物資源を食品として有効利用すること、食品の原料から消費に至るまでの安全性の確保・向上、食品の新しい機能開発などに興味と関心をもつ学生を求めています。

#### 《海洋政策文化学科》

海洋政策文化学科では、政策的アプローチ、産業的アプローチ、文化的アプローチから、理論と実践における考察力と実践力を練磨するために、「海・人・社会」の望ましい関係の在り方について幅広く教育・研究しています。本学科は国際海洋政策学、海洋利用管理学の2つの専門分野から構成されています。理科系・文化系を問わず、海洋政策、海と人との共生にたいして積極的な関心を有し、また、法律、経済、人文学、海洋スポーツ、教育など、幅広い分野に興味のある学生を求めています。

## 海洋工学部

### 《海事システム工学科》

海事システム工学科では、海運をはじめ様々な産業分野で、船舶運航技術および工学的技術を通じて活躍できる人材を養成します。このため、船舶運航に必須な多国籍の運航チームを形成できる協調性と健全な倫理観を持って自ら行動できる人、船舶・自然環境・工学的技術への関心が高く、数学・物理・英語を主とした基礎学力を持った意欲的な学生を求めています。これらのことから、広い教養を身に付けているかをセンター試験で、国際的な視野を持っているかを個別試験で課す英語で判断します。更に、前期日程では数学を、後期日程では理科を課して海事システムを理解できる基礎学力を備えているかを判断して入学者を決定します。

### 《海洋電子機械工学科》

海洋電子機械工学科では、船舶運航関連および機械工学技術や海洋環境問題等の教育研究を行っています。これらに強い興味および関心を持ち、積極的で好奇心があり、問題解決に向けて自ら取り組む意欲を持つ学生を広く求めています。また、社会性や協調性、決断力や行動力があり、本学科での学習に必要な数学や物理等の基礎学力を有し、かつ、広い教養をもつことも重要です。

### 《流通情報工学科》

流通情報工学科では、わが国の衣食住を支える物流と、それを高度に機能させる情報システムについて強い関心を持っている学生や、環境対策も含めたグローバルな経済活動について広い教養と国際的な視野を持つ学生を求めています。このため、一般入試では、センター試験で幅広い教養の習得レベルを判定し、個別試験に英語を課すことで国際的な活躍の能力を検証します。更に前期日程では数学も課し、情報システムを理解する素地について判定します。AO入試では流通や情報システムに関連した模擬講義の後に小論文を課し、面接を行います。また推薦入試では小論文課題と面接により、物流・情報流・商流を意欲的に探求する能力を判定します。

なお、海洋工学部の海事システム工学科と海洋電子機械工学科には、船舶運航に関する実習があります。

## I 入学者選抜の種類

平成23年度入学者選抜については、一般入試は分離分割方式（前期日程，後期日程）で行います。また，海洋科学部，海洋工学部ともアドミッション・オフィス入試（以下AO入試）を行います。なお，専門高校・総合学科卒業生入試はAO入試で行います。

特別入試は，推薦，帰国子女，中国引揚者等子女，社会人及び私費外国人留学生の各入試を行います。なお，海洋工学部の帰国子女，中国引揚者等子女及び社会人の各入試はAO入試で行います。

## II 募集人員

学部	学 科	入学定員	募 集 人 員										
			一般入試		特 別 入 試			アドミッション・オフィス (AO) 入試					私費外国人留学生
			前期日程	後期日程	推 薦	子 女・社会人	国 引揚者等	帰国子女・中	AO (A)	AO (B)	AO (C)	AO (D)	
海洋科学部	海洋環境学科	100	59②	26	8	若干名	5	2①	—	—	—	若干名	
	海洋生物資源学科	70	41②	18	5	若干名	5	1①	—	—	—	若干名	
	食品生産科学科	55	31②	15	4	若干名	4	1①	—	—	—	若干名	
	海洋政策文化学科	40	25①	11	—	若干名	3	1	—	—	—	若干名	
	水産教員養成課程	10										—	
	小 計	275	156⑦	70	17	若干名	17	5③	—	—	—	若干名	
海洋工学部	海事システム工学科	65	36	14	6	—	7	2	若干名	若干名	若干名	若干名	
	海洋電子機械工学科	65	34	16	6	—	7	2	若干名	若干名	若干名	若干名	
	流通情報工学科	45	26	13	2	—	3	1	若干名	若干名	若干名	若干名	
	小 計	175	96	43	14	—	17	5	若干名	若干名	若干名	若干名	
合 計	450	252⑦	113	31	若干名	34	10③	若干名	若干名	若干名	若干名		

(注1) 推薦入試は，公募制の入試です。

(注2) AO (A) は一般，AO (B) は専門高校・総合学科卒業生，AO (C) は帰国子女，AO (D) は中国引揚者等子女，AO (E) は社会人をそれぞれ対象とした入試です。

(注3) ○印の数は，水産教員養成課程の募集人員で外数です。

(注4) 私費外国人留学生は，上表の「入学定員」とは別に募集します。

(注5) 海洋科学部の前期日程の募集人員には，帰国子女，中国引揚者等子女及び社会人の各特別入試の募集人員を含みます。

(注6) 海洋工学部の前期日程の募集人員には，AO (C)，AO (D) 及びAO (E) の募集人員を含みます。

(注7) 海洋科学部及び海洋工学部の推薦入試，AO (A) 及びAO (B) の入学手続き者が，募集人員に満たない場合は，その数を一般入試前期日程の募集人員に加えて募集します。

### III 一般入試, AO入試

#### 1 一般入試

##### (1) 出願資格

本学の一般入試に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当する者で、かつ、平成23年度大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目（7, 8ページを参照）を受験した者に限ります。

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者

(注) 上記③に該当する者のうち、入学資格認定を必要とする者は、個別の入学資格審査が必要です。大学入試センター試験出願の際、本学を志望する者や、他大学の入学資格審査を受けた者で、その後本学に志望変更した者については、それぞれ下記の申請期限までに申請してください。なお、申請要件、申請書類等の詳細については、本学のホームページ (<http://www.kaiyodai.ac.jp/>) にて確認してください。

ア. 大学入試センター試験出願の際、本学を志望する者

平成22年8月27日（金）[必着]

イ. 大学入試センター試験出願の際、他大学の入学資格審査を受けた者で、その後本学に志望変更した者

平成23年1月20日（木）[必着]

ウ. 大学入試センター試験追試験受験者のみ対象

平成23年1月25日（火）17時までに申し出ること。

(注) 大学入試センター試験追試験許可書を提示すること。

##### (2) 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、個別学力検査の成績、調査書の内容及び健康診断（海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。健康診断の基準については、23ページ「VII 健康診断」を参照すること。）の結果を総合して行います。

なお、AO入試については9～15ページを参照してください。

前期日程・後期日程	
① 入学者選抜方法等（6ページを参照）	
② 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等（7, 8ページを参照）	
③ 個別学力検査の教科・科目等（7, 8ページを参照）	
④ 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等（7, 8ページを参照）	
⑤ 志願方式 全学部全学科とも単願とします。	

##### (3) 出願期間・個別学力検査日・合格発表日

	出 願 期 間	個別学力検査日	合 格 発 表 日
前期日程	平成23年1月24日(月) ～ 平成23年2月 2日(水)	平成23年2月25日(金)	平成23年3月 6日(日)
後期日程		平成23年3月12日(土)	平成23年3月23日(水)

平成23年度東京海洋大学入学者選抜方法等  
 (一般入試, 専門高校・総合学科卒業生入試, A〇入試)

学部・日程・学科名		個別学力検査等										専門高校・総合学科卒業生入試					A 〇 入 試	個別 学力 検査 等 の 日 程	備考 (欠員の補充の方法等)				
		個別 学力 検査 を 課 す る	実技検査等			2段階選抜							個別 学力 検査 を 課 す る	実技検査等						募 集 人 員			
			実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 国 語 に お け る リス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	外 国 語 に お け る リス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る	つ い て 更 に 必 要 な 検 査 等 に 行 う	の 成 績 に よ り 第 1 段 階 選 抜 を 行 う	と 大 学 入 試 セ ン タ ー 1 試 験 の 成 績 に よ り 第 1 段 階 選 抜 を 行 う	主 と し て 、 調 査 書 の 内 容 に 対 し て 、 調 査 書 の 内 容 に 対 し て 、 調 査 書 の 内 容 に 対 し て	者 数 の 選 抜 に よ る 合 格 率		第 1 段 階 の 選 抜 に よ る 合 格 率	そ の 他	実 技 検 査 を 課 す る					面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 国 語 に お け る リス ニ ン グ テ ス ト を 課 す る
海洋科学部	前期 日程	海洋環境学科	○	×	×	注1 ○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	注2 ×	注3 ○	2月25日	注4 追加合格	
		海洋生物資源学科																					
		食品生産科学科																					
		海洋政策文化学科																					
海洋科学部	後期 日程	海洋環境学科																					
		海洋生物資源学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	注2 ×	注3 ○	3月12日	注4 追加合格	
		食品生産科学科																					
		海洋政策文化学科																					
海洋工学部	前期 日程	海事システム工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	注2 ×	注3 ○	2月25日	注4 追加合格	
		海洋電子機械工学科																					
		流通情報工学科																					
	後期 日程	海事システム工学科																					
海洋電子機械工学科		○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	注2 ×	注3 ○	3月12日	注4 追加合格	
流通情報工学科																							

(注1) 前期日程で小論文を課す学科は、海洋政策文化学科のみです。

(注2) 海洋科学部及び海洋工学部の専門高校・総合学科卒業生入試は、A〇入試で実施しますので、11～12ページを参照してください。

(注3) A〇入試の日程等については、9～15ページを参照してください。

(注4) 追加合格によってもなお欠員が生じた場合は、欠員補充第2次募集を行うことがあります。

平成23年度 東京海洋大学海洋学部入学者選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名 及び入学定員等 (平成23年度 志願倍率)		学力検査 区分・日程	試験の科目名等	科目等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	英語	公民	数学	理科	外国語	小論文	配 点 合 計	特別の選 抜方法等
海洋科学部 7.2 275人 前期 163 後期 70 AO 25 その他 17	海洋環境学科 前期 61 後期 26 AO 8 その他 8	前期 2月25日	国語	世史, 世地, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経	数Ⅰ・数Ⅱ・数Aから1及び 物Ⅰ・物Ⅱ, 工, 簿, 情報から1の計2 理, 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱから1	センター試験	100	※50	※50	100	100	250	250	600	推薦 中国引揚 社会人 外国人
			公民	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 理, 外				250	350	350	250	1100				
			数学	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】				200	200	200	200	600	追加合格 欠員補充			
			理科	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】				200	200	200	200	600				
海洋生物資源学科 前期 43 後期 18 AO 7 その他 5	前期 2月25日	国語	世史, 世地, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱから1	センター試験	100	※50	※50	100	100	100	250	250	600	推薦 中国引揚 社会人 外国人	
		公民	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 理, 外			250	350	350	250	900						
		数学	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】			200	200	200	200	600	追加合格 欠員補充					
		理科	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】			200	200	200	200	600						
海洋政策文化学科 前期 26 後期 11 AO 4 その他 0	前期 2月25日	国語	世史, 世地, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B又は 物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱから1	センター試験	100	※50	※50	100	100	100	250	250	600	推薦 中国引揚 社会人 外国人	
		公民	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 理, 外			250	350	350	250	900						
		数学	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】			200	200	200	200	600	追加合格 欠員補充					
		理科	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】			200	200	200	200	600						
海洋政策文化学科 前期 26 後期 11 AO 4 その他 0	後期 3月12日	国語	世史, 世地, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫, 政経	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B又は 物Ⅰ・物Ⅱ, 化Ⅰ・化Ⅱ, 生Ⅰ・生Ⅱから1	個別学力検査	100	※50	※50	100	100	100	250	250	600	推薦 中国引揚 社会人 外国人	
		公民	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 理, 外			250	350	350	250	900						
		数学	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【5教科7科目】			200	200	200	200	600	追加合格 欠員補充					
		理科	数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Aから1及び 物Ⅰ, 化Ⅰ, 生Ⅰ, 地学Ⅰから1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 【3教科4科目】			200	200	200	200	600						

(注1) 大学入試センター試験の利用教科・科目について  
 ・ 英語にはリスニングテストを含みます。  
 ・ 指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、高得点の教科・科目の成績をいいます。  
 ・ 工業基礎基礎、簿記・会計、情報関係基礎を選択することができず、高等学校もしくは中等教育学校で履修した者及び文部科学省大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限りません。

(注2) 個別学力検査等について  
 ・ 海洋科学部の数字のうち数Bの出題範囲は、「方と運動」「電気と磁気」  
 ・ 海洋科学部の理科のうち物Ⅱの出題範囲は、「方と運動」「電気と磁気」  
 ・ 海洋科学部の理科のうち物Ⅱの出題範囲は、「方と運動」「電気と磁気」  
 ・ 海洋科学部の理科のうち物Ⅱの出題範囲は、「方と運動」「電気と磁気」  
 ・ 海洋科学部の理科のうち物Ⅱの出題範囲は、「方と運動」「電気と磁気」  
 ・ 海洋科学部の理科のうち物Ⅱの出題範囲は、「方と運動」「電気と磁気」

(注3) 大学入試センター試験及び個別学力検査等について  
 ・ 凡点に※印を付けてある教科は、選択教科を表します。  
 ・ 大学入試センター試験及び個別学力検査等の得点は各科目ごとに偏差値に換算します。

平成23年度 東京海洋大学海洋工学部入学者選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成22年度〕 〔定員倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等							特別の選 抜方法等		
		教科	科目等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語		小論文	面接
海洋工学部 4.6	前期 2月25日	国 地歴 公民 数学 物理 化学 生物 英語 外国語 その他	世A, 世B, 日A, 日B, 地理B, 倫理, 政経, 数I, 数II, 数AからI及びII, 物I, 物II, 理総A, 理総B, 英, 独, 仏, 中, 韓からI	からI	数I・数II・数A・数B・数C又は数I・数II・数III・数A・数B・数CからI	センター試験	200	※100	※100	200	200	100			800
							200	※100	※100	400	200	200	300		1200
175人 前期 後期 AO(一般) AO(専門総合) その他	後期 3月12日	国 地歴 公民 数学 物理 化学 生物 英語 外国語 その他	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫理, 政経, 理総A, 理総B, 物I, 物II, 数I, 数II, 数AからI及びII, 英, 独, 仏, 中, 韓からI	からI	物I・物II 英I・英II	個別学力検査	※200	※200	200	※200	200			600	
						計	※200	※200	200	※200	400			1000	
海洋電子機械 工学部	前期 2月25日	国 地歴 公民 数学 物理 化学 生物 英語 外国語 その他	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫理, 政経, 数I, 数II, 数AからI及びII, 物I, 物II, 理総A, 理総B, 英, 独, 仏, 中, 韓からI	からI	数I・数II・数A・数B・数C又は数I・数II・数III・数A・数B・数CからI	センター試験	100	※100	※100	200	200	100			700
							100	※100	※100	500	200	200	1000		
65人 前期 後期 AO(一般) AO(専門総合) その他	後期 3月12日	国 地歴 公民 数学 物理 化学 生物 英語 外国語 その他	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫理, 政経, 数I, 数II, 数AからI及びII, 物I, 物II, 理総A, 理総B, 英, 独, 仏, 中, 韓からI	からI	物I・物II	個別学力検査			200	100	200			500	
						計			200	300	200			700	
流通情報工学 科	前期 2月25日	国 地歴 公民 数学 物理 化学 生物 英語 外国語 その他	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 倫理, 政経, 数I, 数II, 数AからI及びII, 物I, 物II, 理総A, 理総B, 英, 独, 仏, 中, 韓からI	計3	数I・数II・数A・数B・数C又は数I・数II・数III・数A・数B・数CからI	センター試験	100	※100	※100	200	※100×2	100			700
							100	※100	※100	400	※100×2	200	1000		
45人 前期 後期 AO(一般) AO(専門総合) その他	後期 3月12日	国 地歴 公民 数学 物理 化学 生物 英語 外国語 その他	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B, 現社, 倫理, 政経, 数I, 数II, 数AからI及びII, 物I, 物II, 理総A, 理総B, 英, 独, 仏, 中, 韓からI	からI	英I・英II	個別学力検査	※200	※200	400	※200	200			800	
						計	※200	※200	400	※200	400			1000	

(注1) 大学入試センター試験の利用教科・科目について  
 ・英語にはリスニングテストを含みます。  
 ・指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、高得点の教科・科目の成績を用います。  
 ・工業基礎基礎、簿記・会計、情報関係基礎を選択することができる者は、高等学校若しくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

(注2) 個別学力検査等について  
 ・海洋工学部の数学のうち数学Bの出題範囲は、「数列」「ベクトル」とし、数学Cの出題範囲は「行列とその応用」「式と曲線」とします。  
 ・海洋工学部の理科のうち物IIの出題範囲は、「方と運動」「電気と磁気」「熱とエネルギー」「波動」「量子力学」とします。  
 ・海洋工学部の英語I・英語IIの出題内容は、「和文英訳(与えられた条件に従って日本語の文を英文に書き換える問題)」とします。

(注3) 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点及び得点について  
 ・配点に※印を付けてある教科は、選択教科を表します。

2 AO入試－A（一般）

実施学部・ 学 科 名	海 洋 科 学 部			
	海洋環境学科	海洋生物資源学科	食品生産科学科	海洋政策文化学科
募集人員	5名	5名	4名	3名
出 願 要 件	<p>次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ(4)から(6)を満たす者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(4) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー（入学者受入方針）、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(5) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(6) 高等学校（中等教育学校を含む。）で、物理、化学又は生物のうちいずれか2科目以上を履修した（している）者</p>			
選 抜 方 法 等	<p>【第1次選抜】</p> <p>学科ごとに下記の項目により多面的、総合的に評価して選抜を行い、募集人員の3倍程度を合格者とします。</p> <p>(1) 課題論文 (2) 調査書 (3) 志望理由書</p> <p>【第2次選抜】</p> <p>第1次選抜の合格者に対して、学科ごとに下記の項目により多面的、総合的に評価してAO入試合格者を決定します。</p> <p>(1) 第1次選抜の成績 (2) 模擬講義を聴講し、作成した聴講論文</p> <p>(3) 個人面接</p>			
出 願 期 間	平成22年8月2日（月）から平成22年8月6日（金）まで			
選 抜 期 日	<p>【第1次選抜】</p> <p>平成22年8月25日（水）10時30分</p> <p>【第2次選抜】</p> <p>平成22年9月29日（水）10時</p>			
合 格 発 表 日	<p>第1次選抜 平成22年8月31日（火）10時</p> <p>最終合格 平成22年10月8日（金）10時</p>			
そ の 他	詳細は、平成22年6月中旬に公表した「平成23年度海洋科学部AO入試学生募集要項」を参照してください。			

実施学部・ 学 科 名	海 洋 工 学 部		
	海事システム工学科	海洋電子機械工学科	流通情報工学科
募集人員	7名	7名	3名
出 願 要 件	<p>次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ(4)と(5)を満たす者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <p>(4) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー(入学者受入方針)、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(5) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>		
選 抜 方 法 等	<p>【第1次選抜】</p> <p>下記の出願書類により多面的、総合的に評価して選抜を行い、募集人員の3倍程度を合格者とします。</p> <p>(1) 調査書等 (2) 志望理由・自己推薦書</p> <p>【第2次選抜】(各学科ごとに選抜方法は異なります。)</p> <p>第1次選抜の合格者に対して、各学科ごとに第2次選抜を行い、第1次選抜の成績、第2次選抜の成績、調査書の内容及び健康診断(海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。健康診断の基準については、23ページ「Ⅶ 健康診断」を参照すること。)の結果を総合的に評価して、AO入試合格者を決定します。</p>		
出 願 期 間	平成22年8月20日(金)から平成22年8月27日(金)まで		
選 抜 期 日	<p>【第1次選抜】</p> <p>平成22年8月31日(火)から平成22年9月2日(木)</p> <p>【第2次選抜】</p> <p>平成22年9月29日(水)</p>		
合 格 発 表 日	<p>第1次選抜 平成22年 9月17日(金) 10時</p> <p>最終合格 平成22年10月15日(金) 10時</p>		
そ の 他	詳細は、平成22年6月下旬に公表した「平成23年度海洋工学部AO入試学生募集要項」を参照してください。		

### 3 A〇入試－B（専門高校・総合学科卒業生）

実施学部・ 学 科 名	海 洋 科 学 部			
	海洋環境学科	海洋生物資源学科	食品生産科学科	海洋政策文化学科
募集人員	3名	2名	2名	1名
出願要件	<p>次の(1)～(4)の要件をすべて満たす者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校の水産系の学科を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー（入学者受入方針）、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(3) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(4) 高等学校又は中等教育学校で、次の各号のいずれかを履修した(している)者</p> <p>① 物理、化学又は生物のうち、いずれか2科目以上を履修した(している)者</p> <p>② 理科総合A又は理科総合Bのうちいずれか1科目以上、及び物理、化学又は生物のうちいずれか1科目の計2科目以上を履修した(している)者</p>			
選抜方法等	<p>【第1次選抜】</p> <p>学科ごとに下記の項目により多面的、総合的に評価して選抜を行い、募集人員の3倍程度を合格者とします。</p> <p>(1) 課題論文 (2) 口頭試問 (3) 調査書 (4) 志望理由書</p> <p>【第2次選抜】</p> <p>第1次選抜の合格者に対して、学科ごとに下記の項目により多面的、総合的に評価してA〇入試合格者を決定します。</p> <p>(1) 第1次選抜の成績 (2) 模擬講義を聴講し、作成した聴講論文</p> <p>(3) 個人面接</p>			
出願期間	平成22年8月2日（月）から平成22年8月6日（金）まで			
選抜期日	<p>【第1次選抜】</p> <p>平成22年8月25日（水）10時30分</p> <p>【第2次選抜】</p> <p>平成22年9月29日（水）10時</p>			
合格発表日	<p>第1次選抜 平成22年8月31日（火）10時</p> <p>最終合格 平成22年10月8日（金）10時</p>			
そ の 他	詳細は、平成22年6月中旬に公表した「平成23年度海洋科学部A〇入試学生募集要項」を参照してください。			

実施学部・ 学 科 名	海 洋 工 学 部		
	海事システム工学科	海洋電子機械工学科	流通情報工学科
募 集 人 員	2 名	2 名	1 名
出 願 要 件	<p>次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、かつ(3)と(4)を満たす者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校の工業・情報に関する学科を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者 また、海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限り、高等学校若しくは中等教育学校の海洋技術に関する学科又は海上技術学校(注)を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者も含む。 (注) 海上技術学校とは、独立行政法人海技教育機構法(平成11年法律第214号)による海上技術学校(旧独立行政法人海員学校及び旧運輸省組織令による海員学校を含む。)の本科を指す。</p> <p>(2) 高等学校又は中等教育学校の総合学科を卒業した者及び平成23年3月までに卒業見込みの者で工業・情報に関する科目を20単位以上修得した者及び修得見込みの者</p> <p>(3) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー(入学者受入方針)、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(4) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>		
選 抜 方 法 等	<p>【第1次選抜】 下記の出願書類により多面的、総合的に評価して選抜を行い、募集人員の3倍程度を合格者とします。 (1) 調査書 (2) 志望理由・自己推薦書</p> <p>【第2次選抜】(各学科ごとに選抜方法は異なります。) 第1次選抜の合格者に対して、各学科ごとに第2次選抜を行い、第1次選抜の成績、第2次選抜の成績、調査書の内容及び健康診断(海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。健康診断の基準については、23ページ「Ⅶ 健康診断」を参照すること。)の結果を総合的に評価して、AO入試合格者を決定します。</p>		
出 願 期 間	平成22年8月20日(金)から平成22年8月27日(金)まで		
選 抜 期 日	<p>【第1次選抜】 平成22年8月31日(火)から平成22年9月2日(木)</p> <p>【第2次選抜】 平成22年9月29日(水)</p>		
合 格 発 表 日	<p>第1次選抜 平成22年 9月17日(金) 10時</p> <p>最終合格 平成22年10月15日(金) 10時</p>		
そ の 他	詳細は、平成22年6月下旬に公表した「平成23年度海洋工学部AO入試学生募集要項」を参照してください。		

4 A O入試－C（帰国子女）

実施学部・ 学 科 名	海洋工学部・各学科
募 集 人 員	各学科若干名
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者（転勤等により保護者が先に日本に帰国し、その子女のみが単身で在留する場合も出願を認める。）</p> <p>〔基礎資格〕 次の(1)から(4)のいずれかに該当する者で、平成23年(2011年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(1) 外国及び日本の正規の学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者、又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの。 ただし、12年の課程の最終4か年のうち、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること。 (注1) 上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」(昭和56年文部省告示第153号第1号)とは、外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者である。 (注2) 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者</p> <p>(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者</p> <p>〔要件〕 次の(5)～(7)の要件をすべて満たす者</p> <p>(5) 平成23年(2011年)4月1日現在において基礎資格取得後2年以内であること。(平成21年(2009年)4月1日から平成23年(2011年)3月31日までに取得していること。)</p> <p>(6) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー(入学者受入方針)、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(7) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	<p>〔第1次選抜〕 下記の出願書類により多面的、総合的に評価して選抜を行い、3名程度を合格者とします。</p> <p>(1) 成績証明書等 (2) 志望理由・自己推薦書</p> <p>〔第2次選抜〕(各学科ごとに選抜方法は異なります。)</p> <p>第1次選抜の合格者に対して、各学科ごとに第2次選抜を行い、第1次選抜の成績、第2次選抜の成績、調査書の内容及び健康診断(海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。健康診断の基準については、23ページ「Ⅶ 健康診断」を参照すること。)の結果を総合的に評価して、A O入試合格者を決定します。</p>
出 願 期 間	平成22年8月20日(金)から平成22年8月27日(金)まで
選 抜 期 日	<p>〔第1次選抜〕 平成22年8月31日(火)から平成22年9月2日(木)</p> <p>〔第2次選抜〕 平成22年9月29日(水)</p>
合 格 発 表 日	<p>第1次選抜 平成22年 9月17日(金) 10時</p> <p>最終合格 平成22年10月15日(金) 10時</p>
そ の 他	詳細は、平成22年6月下旬に公表した「平成23年度海洋工学部A O入試学生募集要項」を参照してください。

5 AO入試-D (中国引揚者等子女)

実施学部・ 学 科 名	海洋工学部・各学科
募 集 人 員	各学科若干名
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者が引揚者であり、日本国へ引揚後、原則として9年以下である者のうち、学校教育法第90条の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者で、かつ次の(1)と(2)を満たす者</p> <p>(1) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー(入学者受入方針)、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者</p> <p>(2) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(注) 中国引揚者等子女とは、保護者(父と母、又は父母のいずれか、あるいは祖父母等)が引揚者である者をいう。また、引揚者とは終戦前(昭和20年9月2日以前をいう。)から引続き外国に居住していた者(当該者を親として終戦後外国において出生した者を含む。)で、終戦後はじめて永住の目的をもって帰国した者をいう。</p>
選 抜 方 法 等	<p>【第1次選抜】 下記の出願書類により多面的、総合的に評価して選抜を行い、3名程度を合格者とします。</p> <p>(1) 調査書等 (2) 志望理由・自己推薦書</p> <p>【第2次選抜】(各学科ごとに選抜方法は異なります。)</p> <p>第1次選抜の合格者に対して、各学科ごとに第2次選抜を行い、第1次選抜の成績、第2次選抜の成績、調査書の内容及び健康診断(海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。健康診断の基準については、23ページ「VII 健康診断」を参照すること。)の結果を総合的に評価して、AO入試合格者を決定します。</p>
出 願 期 間	平成22年8月20日(金)から平成22年8月27日(金)まで
選 抜 期 日	<p>【第1次選抜】平成22年8月31日(火)から平成22年9月2日(木)</p> <p>【第2次選抜】平成22年9月29日(水)</p>
合 格 発 表 日	<p>第1次選抜 平成22年 9月17日(金) 10時</p> <p>最終合格 平成22年10月15日(金) 10時</p>
そ の 他	詳細は、平成22年6月下旬に公表した「平成23年度海洋工学部AO入試学生募集要項」を参照してください。

6 AO入試－E（社会人）

実施学部・ 学 科 名	海洋工学部・各学科
募 集 人 員	各学科若干名
出 願 要 件	<p>平成23年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を5年以上有する者で、次の(1)から(3)のいずれかに該当し、かつ(4)と(5)を満たす者</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者  (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者  (3) 大学出願資格を有する者  (4) 大学の理念、大学の人材養成と目標、アドミッションポリシー（入学者受入方針）、教育研究上の目的及び各学科が求める学生像を理解し、本学への志望動機が明確である者  (5) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>
選 抜 方 法 等	<p>【第1次選抜】  下記の出願書類により多面的、総合的に評価して選抜を行い、3名程度を合格者とします。  (1) 調査書 (2) 志望理由・自己推薦書</p> <p>【第2次選抜】（各学科ごとに選抜方法は異なります。）  第1次選抜の合格者に対して、各学科ごとに第2次選抜を行い、第1次選抜の成績、第2次選抜の成績、調査書の内容及び健康診断（海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。健康診断の基準については、23ページ「Ⅶ 健康診断」を参照すること。）の結果を総合的に評価して、AO入試合格者を決定します。</p>
出 願 期 間	平成22年8月20日（金）から平成22年8月27日（金）まで
選 抜 期 日	<p>【第1次選抜】  平成22年8月31日（火）から平成22年9月2日（木）</p> <p>【第2次選抜】  平成22年9月29日（水）</p>
合 格 発 表 日	<p>第1次選抜 平成22年 9月17日（金）10時  最終合格 平成22年10月15日（金）10時</p>
そ の 他	<p>詳細は、平成22年6月下旬に公表した「平成23年度海洋工学部AO入試学生募集要項」を参照してください。</p>

## IV 特別入試

### 平成23年度東京海洋大学入学者選抜方法等（特別入試）

選抜方法等 学部・学科名	推薦入試								推薦入試募集人員	帰国子女・社会人等 のための特別入試			その他の 選抜	備考
	入学定員の一部分について、出身学校長の推薦に基づき、 学力検査を免除し、調査書を主な資料として判定する									帰 国 子 女	中 国 引 揚 者 等 子 女	社 会 人		
	個別 学力 検査 を 免 除 し、 大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 を 課 す る	個別 学力 検査 及 び 大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験 を 免 除 す る	実 技 検 査 等					推 薦 入 試 募 集 人 員						
			実 技 検 査 を 課 す る	面 接 を 行 う	小 論 文 を 課 す る	外 国 語 に お け る リス ニング テ ス ト を 課 す る	そ の 他							
海洋科学部	海洋環境学科	×	○	×	○	○	×	×	8名	○	○	○	×	
	海洋生物資源学科	×	○	×	○	○	×	×	5名	○	○	○	×	
	食品生産科学科	×	○	×	○	○	×	×	4名	○	○	○	×	
	海洋政策文化学科	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	×	
海洋工学部	海事システム工学科	×	○	×	○	○	×	×	6名	(注) ×	(注) ×	(注) ×	×	
	海洋電子機械工学科	×	○	×	○	○	×	×	6名	(注) ×	(注) ×	(注) ×	×	
	流通情報工学科	×	○	×	○	○	×	×	2名	(注) ×	(注) ×	(注) ×	×	

(注) 海洋工学部の帰国子女・中国引揚者等子女・社会人特別入試は、AO入試で実施しますので、13～15ページを参照してください。

## 1 推薦特別入試

実施学部・ 学 科 名	海 洋 科 学 部			海 洋 工 学 部		
	海洋環境学科	海洋生物 資源学科	食品生産 科学科	海事システム 工 学 科	海洋電子機械 工 学 科	流通情報 工 学 科
募集人員	8名	5名	4名	6名	6名	2名
出 願 要 件	<p>志望学科への入学の意志が強く、次の各号のすべてに該当する者</p> <p>(1) 平成22年4月から平成23年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>(2) 人物、学業成績が共に優れ、学校長が責任をもって推薦する者</p> <p>(3) 合格した場合は、本学に入学することを確約できる者</p>					
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し、小論文・面接の成績、提出書類の内容及び健康診断（海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。健康診断の基準については、23ページ「Ⅶ 健康診断」を参照すること。）の結果を総合して行います。</p>					
出 願 期 間	平成22年11月1日（月）から平成22年11月9日（火）まで					
選 抜 期 日	平成22年11月25日（木）小論文、面接を行います。					
合 格 発 表 日	平成22年12月10日（金）10時					
そ の 他	<p>詳細は、平成22年8月下旬に公表する「平成23年度特別入試学生募集要項」を参照してください。</p>					

## 2 帰国子女特別入試

実施学部・ 学 科 名	海洋科学部・各学科
募 集 人 員	各学科若干名
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により外国の学校教育を受け、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たしている者（転勤等により保護者が先に日本に帰国し、その子女のみが単身で在留する場合も出願を認める。）</p> <p>[基礎資格]</p> <p>次の(1)から(4)のいずれかに該当する者で、平成23年(2011年)3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(1) 外国及び日本の正規の学校教育における12年の課程を修了した者及び修了見込みの者、又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの ただし、12年の課程の最終4か年のうち、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けていること。 (注1) 上記の「これに準ずるもので文部科学大臣の指定したもの」とは、次のとおりである。(昭和56年文部省告示第153号第1号) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む。)に合格した者 (注2) 外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けたものとはみなさない。</p> <p>(2) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者</p> <p>(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者</p> <p>[要件]</p> <p>平成23年(2011年)4月1日現在において基礎資格取得後2年以内であること(平成21年(2009年)4月1日から平成23年(2011年)3月31日までに取得していること。)</p>
選 抜 方 法 等	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除し、小論文・面接の成績及び提出書類の内容を総合して行います。
出 願 期 間	平成22年11月1日(月)から平成22年11月9日(火)まで
選 抜 期 日	平成22年11月25日(木)小論文, 面接を行います。
合 格 発 表 日	平成22年12月10日(金)10時
そ の 他	詳細は、平成22年8月下旬に公表する「平成23年度特別入試学生募集要項」を参照してください。

### 3 中国引揚者等子女特別入試

実施学部・ 学 科 名	海洋科学部・各学科
募 集 人 員	各学科若干名
出 願 要 件	<p>日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であって、保護者が引揚者であり、日本国へ引揚後、原則として9年以下である者のうち、学校教育法第90条の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者</p> <p>(注) 中国引揚者等子女とは、保護者（父と母、又は父母のいずれか、あるいは祖父母等）が引揚者である者をいう。また、引揚者とは終戦前（昭和20年9月2日以前をいう。）から引続き外国に居住していた者（当該者を親として終戦後外国において出生した者を含む。）で、終戦後はじめて永住の目的をもって帰国した者をいう。</p>
選 抜 方 法 等	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除し、小論文・面接の成績及び提出書類の内容を総合して行います。
出 願 期 間	平成22年11月1日（月）から平成22年11月9日（火）まで
選 抜 期 日	平成22年11月25日（木）小論文、面接を行います。
合 格 発 表 日	平成22年12月10日（金）10時
そ の 他	詳細は、平成22年8月下旬に公表する「平成23年度特別入試学生募集要項」を参照してください。

#### 4 社会人特別入試

実施学部・ 学 科 名	海洋科学部・各学科
募集人員	各学科若干名
出 願 要 件	平成23年3月31日までに満23歳に達し、社会人としての経験を5年以上有する者で、次の(1)から(3)のいずれかに該当する者 (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 (3) 大学出願資格を有する者
選抜方法等	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除し、小論文・面接の成績及び提出書類の内容を総合して行います。
出 願 期 間	平成22年11月1日（月）から平成22年11月9日（火）まで
選 抜 期 日	平成22年11月25日（木）小論文，面接を行います。
合格発表日	平成22年12月10日（金）10時
そ の 他	詳細は、平成22年8月下旬に公表する「平成23年度特別入試学生募集要項」を参照してください。

## V 私費外国人留学生特別入試

実施学部・ 学 科 名	海洋科学部・各学科	海洋工学部・各学科
募集人員	各学科若干名	
出願要件	<p>次の(1)から(4)のすべてに該当する者</p> <p>(1) 日本国籍を有しない者</p> <p>(2) 次の①から④のいずれかに該当する者で、平成23年(2011年)3月31日までに満18歳に達する者</p> <p>① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成23年(2011年)3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したもので</p> <p>② スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を取得した者</p> <p>③ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者</p> <p>④ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者</p> <p>(3) 日本の出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は受験の際に有する見込みの者</p> <p>(4) 独立行政法人日本学生支援機構が年2回(6月・11月)実施する平成22年度(2010年度)日本留学試験で本学が指定した教科・科目を受験した者</p> <p>海洋科学部へ出願する者は、日本語、理科(2科目選択)、数学(コース2)を受験してください。ただし、出題言語は日本語で受験してください。</p> <p>海洋工学部へ出願する者は、日本語、理科(物理・化学)、数学(コース2)を受験してください。ただし、出題言語は日本語で受験してください。</p> <p>なお、平成22年度(2010年度)日本留学試験は、実施される年2回のうちどちらを受験してもかまいません。</p>	
選抜方法等	<p>入学者の選抜は、大学入試センター試験を免除し、個別学力検査・面接・日本留学試験の成績、提出書類の内容及び健康診断(海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科志願者に限る。健康診断の基準については、23ページ「VII 健康診断」を参照すること。)の結果を総合して行います。</p>	
出願期間	平成23年1月24日(月)から平成23年2月2日(水)まで	
選抜期日	平成23年2月25日(金)	
合格発表日	平成23年3月6日(日)10時	
そ の 他	<p>詳細は、平成22年11月上旬に公表する「平成23年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」を参照してください。</p>	

## VI 学生募集要項の発表・請求方法

### 1 発表

入学者選抜に関する細目を記載した「平成23年度特別入試学生募集要項（推薦，帰国子女，中国引揚者等子女，社会人）」については，平成22年8月下旬に，また，「平成23年度学生募集要項」及び「平成23年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」については，平成22年11月上旬に発表する予定です。

### 2 請求方法

#### (1) 大学のホームページから請求する場合



大学のホームページから直接，テレメールによる資料請求ができます。詳しくは本学ホームページ (<http://www.kaiyodai.ac.jp/>) をご覧ください。

#### (2) テレメールでの請求方法

電話（24時間コンピュータ音声応答ダイヤル）により請求することができ，2～3日後に届きます。ただし，郵送開始日までの請求は，予約受付となります。

〈申込方法〉

#### ① インターネット（携帯電話・パソコン）または電話をご利用ください。

 テレメール	インターネット(携帯電話・パソコン)の場合	電話の場合	
	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a> 携帯電話(iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ)， パソコンとも共通アドレスです。	IP電話	050-2015-0555
	QRコード ※対応する携帯電話で 読み取れます。	 ※IP電話への一般電話回線からの通話 料金は，日本全国どこからでも3分ご とに約11円です。	

#### ② 本学の資料番号6ケタをプッシュ又は入力してください。

資料名	資料番号	送料	テレメールで請求	郵便局で請求	請求時期
大学案内	569302	240円	○	×	6月下旬
入学者選抜要項	569312	140円	○	×	7月下旬
入学者選抜要項+大学案内	569322	240円	○	×	7月下旬
海洋科学部AO入試学生募集要項	569332	200円	○	×	7月上旬
海洋工学部AO入試学生募集要項	589332	240円	○	×	7月中旬
推薦入試等特別入試学生募集要項	549422	240円	○	×	8月下旬
私費外国人留学生特別入試学生募集要項	589322	200円	○	×	11月上旬
一般入試学生募集要項	589312	240円	○	○	11月上旬
一般入試学生募集要項+大学案内	549402	390円	○	○	11月上旬

#### ③ あとは音声ガイダンスに従って操作してください。送料は，資料が届いたら同封の払込用紙により振り込んでください。

郵便局（普通局，特定局）に設置されている「全国国公立大学・短期大学，私立大学・短期大学募集要項(願書)請求申込書」（入学願書ゆうパックカタログ）に必要な事項を記入の上，送料と払込手数料100円を添えて，最寄りの郵便局の窓口申し込んでください。受付から1週間程度で届きます。なお，請求申込書は高等学校で入手できる場合もあります。

※郵便局・テレメールでの請求についての問い合わせ先

〔テレメールカスタマーセンター：TEL（050）2015-5050〕

（月～金 9:30～18:00）

## VII 健康診断

海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科を志願する者は、医師の作成した健康診断書（本学所定の用紙）により審査します。

審査の結果、さらに精密検査を必要と認めた者に対しては、試験当日に該当者に通知し、試験終了後、本学で精密検査を行います。この精密検査を受けなかった者は、不合格とします。

両学科は、授業科目に船舶実習があり、視力、色覚（海事システム工学科のみ）及び運動機能等に条件がありますので、注意してください。両学科の健康診断基準は下記の表を参照してください。さらに、海事システム工学科航海システムコース及び海洋電子機械工学科機関システム工学コースを卒業後、船舶職員となることを志望し、乗船実習科（6か月の課程）に進学しようとする者は、引き続き、下記の〔乗船実習科の身体検査基準〕を参照してください。

なお、海洋科学部を卒業後に、水産専攻科（船舶の運航に関して学ぶ1年の課程）に進学し海技士免許を取得しようとする者は、下記の〔乗船実習科の身体検査基準〕を参照してください。視力が両眼（矯正を含む）とも0.6以上であること、色盲又は強度の色弱でないこと等が条件になっています。

### 〔海洋工学部の健康診断基準〕

項 目	海事システム工学科	海洋電子機械工学科
視 力	両眼（矯正視力を含む）とも0.6以上であること。	
色 覚	色盲又は強度の色弱でないこと。	
聴 力	著しい異常がないこと。	
運 動 機 能	重度の運動機能の障害又は身体機能の障害がないこと。	
そ の 他	修学に支障がないこと。（注）	

（注）特に船舶実習に際しては、様々な条件によって履修に支障がある場合があるので、不明な点については、出願前に越中島地区事務室入試係へ問い合わせてください。

### 〔水産専攻科・乗船実習科の身体検査基準〕

検 査 項 目	身 体 検 査 基 準
視 力 （5メートルの距離で万国視力表による。）	視力（矯正視力を含む）が両眼共に0.6以上であること。
弁 色 力 （航海課程に限る。）	色盲又は強度の色弱でないこと。
聴 力	5メートル以上の距離で話声語を弁別できること。
疾病及び身体機能の障害の有無	心臓疾患、眼疾患、精神の機能の障害、言語機能の障害、運動機能の障害、その他の疾病又は身体機能の障害があっても軽症で勤務に支障をきたさないと認められること。

（船舶職員及び小型船舶操縦者法施行規則別表第3準拠）

## VIII 障害等のある入学志願者との事前相談について

障害（学校教育法施行令第22条の3に定める程度）等のある入学志願者で受験上及び修学上特別な配慮を必要とする可能性のある者は、本学として特別な配慮が実施可能かどうか判断しますので、出願に先立ち事前に相談を行ってください。

### 1 相談の時期

入学者選抜の種類	相談の期限
AO入試（海洋科学部）	平成22年7月16日（金）まで
AO入試（海洋工学部）	平成22年8月6日（金）まで
特別入試（推薦，帰国子女，中国引揚者等子女，社会人）	平成22年10月8日（金）まで
一般入試，私費外国人留学生特別入試	平成23年1月17日（月）まで

### 2 相談の方法

相談内容を記載した説明書（健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる出身学校関係者等との面談等を行います。

### 3 連絡先

- ・海洋科学部志願者

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7 東京海洋大学入試課入試第一係 TEL 03(5463)0510

- ・海洋工学部志願者

〒135-8533 東京都江東区越中島 2-1-6 東京海洋大学越中島地区事務室入試係

TEL 03(5245)7315

## IX 情報開示について

本学では、各選抜における、試験問題，解答例，合否判定基準等の情報開示を行います。詳細については、「平成23年度特別入試学生募集要項」，「平成23年度学生募集要項」及び「平成23年度私費外国人留学生特別入試学生募集要項」に掲載します。

## X 東京海洋大学のキャンパス

東京海洋大学のキャンパスは、品川キャンパスと越中島キャンパスの2か所です。なお、海洋科学部は品川キャンパス，海洋工学部は越中島キャンパスで、主たる教育研究を行います。

## XI 東京海洋大学学生寮のお知らせ

### 学生寮の概要等

東京海洋大学には2つの学生寮があります。

	「朋鷹寮(ほうようりょう)」	「海王寮(かいおうりょう)」
場所	東京都港区港南4-5-7	東京都江東区越中島2-2-8
入寮募集人数	男子25名程度 女子15名程度	男子45名程度 女子10名程度
部屋の形状	個室 男子 北寮 12.25㎡ 女子 南寮 12.25㎡	準個室(1室を2部屋に区切り2人で使用) 男子 1~3寮 約12.5㎡ 女子 4寮 約12.5㎡
経費 (平成22年3月現在) ※年度により変更になる 可能性があります。	寄宿料 4,700円/月 光熱水費 40,000円/年 入寮費 10,000円/入寮時のみ 居室清掃費等 15,000円/入寮時のみ 学生寮運営のための諸経費 2,000円/月	寄宿料 3,000円/月 光熱水費等 45,600円/年 入寮費 10,000円/入寮時のみ 居室清掃費等 10,000円/入寮時のみ 学生寮運営のための諸経費 2,200円/月
選考方法	通学の困難度(原則として、片道の通学時間が2時間以上の者を優先)と家庭の経済状況(東京海洋大学授業料免除選考基準に準じ算出した「家計評価額」による)を考慮して選考します。	

学生寮へ入寮を希望される場合は、下記により応募してください。

#### ・学生寮の入寮募集要項の請求方法

1. 請求期間：平成23年1月17日(月)～2月10日(木)

#### 2. 請求方法：

・直接来学または郵送により請求してください。

・郵送の場合は、東京海洋大学宛の封筒に「入寮募集要項請求と朱書き、返信用封筒

〔(角形2号：33cm×24cm)に郵便番号、住所、氏名を明記し、240円切手を貼付すること〕を同封のうえ、本学学生サービス課学生生活係に請求してください。

#### 3. 請求及び照会先

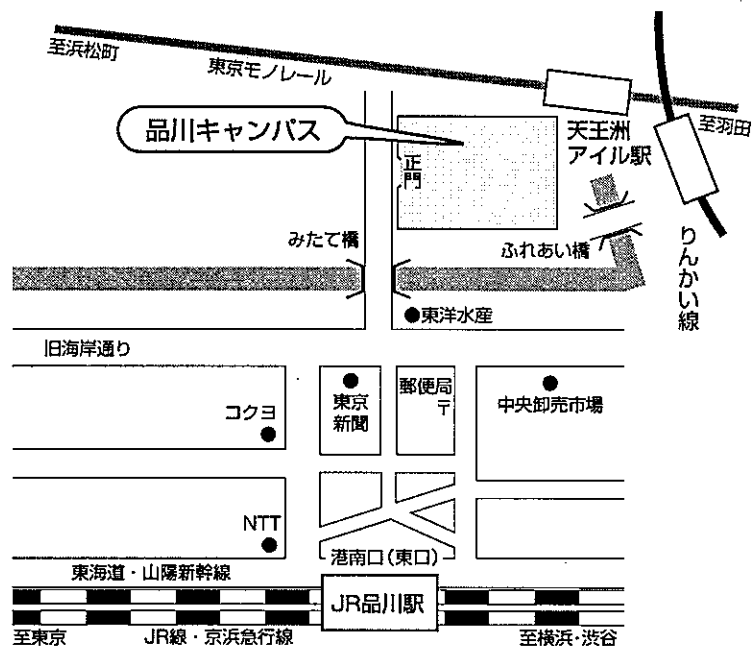
・住所：〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学学生サービス課学生生活係

・電話：(03) 5463-0433

\* 入寮願の提出方法及び提出期間、選考結果発表日等の詳細は「入寮募集要項」でお知らせします。

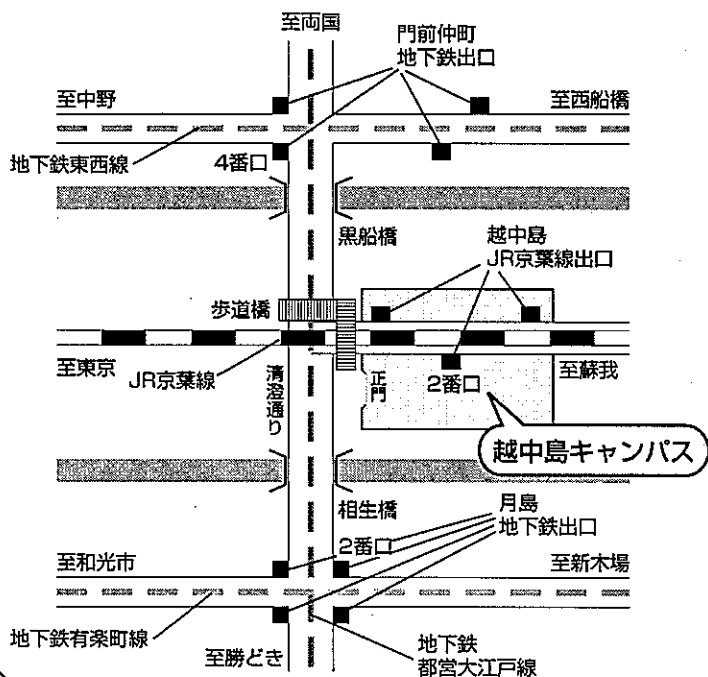
# 交通の案内

## ●品川キャンパス(海洋科学部)



- JR線、東海道新幹線及び京浜急行線「品川駅」自由通路港南口(東口)を経て正門まで徒歩約10分。
- 東京モノレール・りんかい線「天王洲アイランド駅」から「ふれあい橋」を渡り正門まで徒歩約20分。

## ●越中島キャンパス(海洋工学部)



- JR京葉線「越中島駅」下車2番出口から徒歩約2分。東京駅から各駅停車で2つ目。新木場駅から各駅停車で2つ目。
- 地下鉄東西線、大江戸線「門前仲町駅」下車4番出口から徒歩約10分。
- 地下鉄有楽町線、大江戸線「月島駅」下車2番出口から徒歩約10分。



— 入学者選抜要項に関する問い合わせ先 —

○海洋科学部（品川キャンパス）

〒108-8477

東京都港区港南4-5-7

東京海洋大学入試課入試第一係

TEL 03-5463-0510

○海洋工学部（越中島キャンパス）

〒135-8533

東京都江東区越中島2-1-6

東京海洋大学越中島地区事務室入試係

TEL 03-5245-7315

URL <http://www.kaiyodai.ac.jp/>